

参考文献

■本書全体にかかわるもの

『日本通史』ⅠⅡⅢ 山川出版社 一九八七年

『日本の歴史』全二巻 集英社 一九九一年

『週間朝日百科日本の歴史』全一三三号 朝日新聞社 一九八六年

■各章にかかわるもの

▼原始・古代

安孫子昭二ほか 『吉野遺跡群』 東京都埋蔵文化財センター 一九九八年

八年

大田区立郷土博物館編 『武蔵国造の乱』 東京美術 一九九五年

大塚初重・戸沢充則編 『日本考古用語辞典』 柏書房 一九九六年

岡田紀夫 『福生の鳥類』 『福生市史 下巻』 福生市 一九九四年

(以下『福生市史 下巻』を使用の場合は『市史 下』と略す)

北村健治 『わが街福生』 『福生の自然環境』 『福生の地質』 『福生の地形』 『市史 下』

栗原 仁 『福生の昆虫類』 『福生の水生生物(玉川上水の昆虫)』 『市史 下』

田中和明 『福生の水生生物(水生昆虫)(付着藻類)(魚類)(水生植物)(トンボ類)』 『市史 下』

東京都教育委員会 『発掘物語』 一九九三年

東京都教育委員会 『東京の遺跡散歩』 一九九三年

戸沢充則監修 『東京の三万年 1・2』 柏書房 一九八四年

橋口尚武ほか 『宮ヶ谷戸遺跡Ⅱ』 宮ヶ谷戸遺跡調査会 一九九四年

橋口尚武ほか 『雨間地区遺跡群』 雨間地区遺跡調査会 一九九八年

宮岡一雄 『福生の気象』 『福生の植物』 『市史 下』

歴史学研究会・日本史研究会編 『講座 日本歴史 1』 東京大学出版会 一九八四年

会 一九八四年

和田 哲 『原始・古代』 『福生市史 上巻』 福生市 一九九三年

(以下『福生市史 上巻』を使用の場合は『市史 上』と略す)

和田 哲 『福生の遺跡』 『みずくらいど(福生市史研究)』 一号 福生市 一九八五年

和田 哲 『福生市史資料編 考古』 福生市 一九八八年

和田 哲 『多摩の縄文中期概観』 『多摩のあゆみ』 第六二号 多摩中央信用金庫 一九九一年

和田 哲 『長沢縄文人の精神文化覚え書き』 『みずくらいど(福生市史研究)』 一六号 福生市 一九九四年

和田 哲 『福生市長沢遺跡』 第九次調査報告書 福生市教育委員会 一九九七年

『福生市文化財総合調査報告書第二九集 福生市の寺社美術品』 福生市教育委員会 一九九七年

『長沢遺跡と勝坂式土器展』 福生市郷土資料室 一九九三年

▼中世

朝倉直美 「北条氏照の活躍」 「北条氏照の滝山・八王子領支配」 『市史』上

史

有元修一 「板碑にみる人々の信仰」 『市史』上

遠藤廣昭 「中世の寺院と神社」 「農民の生活と寺社」 「修験と村を訪れる宗教者」 『市史』上

れる宗教者」 『市史』上

大久保俊昭 「鎌倉府の支配と多摩地域」 「小田原合戦・八王子城の落城と福生周辺」 『市史』上

城と福生周辺」 『市史』上

奥野高廣 「武家政治期の武蔵野の歴史」 『武蔵野』三〇〇号 武蔵野文化協会 一九八一年

野文化協会 一九八一年

加藤 功 「武蔵国莊園分布図・武蔵武士分布図」 『武蔵野』三〇〇号 武蔵野文化協会 一九八一年

号 武蔵野文化協会 一九八一年

加藤 哲 「武蔵野の武将と領国」 『武蔵野』三〇〇号 武蔵野文化協会 一九八一年

協会 一九八一年

久保田昌希 「多摩の東と西」 「北条氏照と福生の人々」 『市史』上

「福生市内の戦国期文書について」 『みずくらいど(福生市史研究)』一〇号 福生市 一九八六年

「多摩の武士団と鎌倉幕府の開設」 「系図にみえる福生と鎌倉武士」 「北条氏の武蔵経営と武蔵野開発」 「鎌倉幕府

の滅亡から南北朝の内乱へ」 『市史』上

の滅亡から南北朝の内乱へ」 『市史』上

長塚 孝 「武蔵守護代大石氏の盛衰」 『市史』上

「武蔵守護代大石氏の盛衰」 『市史』上

芳賀善次郎 「関東地方の鎌倉街道」 『武蔵野』三〇〇号 武蔵野文化協会 一九八一年

協会 一九八一年

平野明夫 「東国の動乱と武州南一揆」 「後北条氏の武蔵侵攻と北条

氏照の登場」 『市史』上
「麦打歌の周辺」 『みずくらいど(福生市史研究)』一六号
福生市 一九九四年

福生市 一九九四年

『福生市の中世大量埋蔵銭』 福生市教育委員会 一九九六年

『武州下原刀展』 福生市教育委員会 一九九八年

▼近世

牛米 努 「武州直直し騒動」 『市史』上

落合 功 「福生の諸産業と農間渡世」 『市史』上

「幕末期における質屋渡世について」 『みずくらいど(福生市史研究)』一三〇号 福生市 一九九一年

「熊川村の村明細帳類」 『みずくらいど(福生市史研究)』二〇号 福生市 一九八六年

北原 進 「近世村落としての福生・熊川」 『みずくらいど(福生市史研究)』二〇号 福生市 一九八六年

「近世村落としての福生・熊川」 『みずくらいど(福生市史研究)』二〇号 福生市 一九八六年

「農耕生活と文化」 『市史』上

「多満自慢石川酒造文書」 日記に見る文政期熊川名主家の食生活」 「多摩のあゆみ」 第四九号 財団法人たましん地域文化財団 一九八八年

「文政年間における熊川村の生活」 『多満自慢石川酒造文書』第二卷 霞出版社 一九八六年

「開港と農民負担の増大」 『市史』上

「宗門人別帳からみた村」 「庭場と組の構造と機能」 『市史』上

小松 修 「開港と農民負担の増大」 『市史』上

「宗門人別帳からみた村」 「庭場と組の構造と機能」 『市史』上

桜井昭男 「市内の石仏を訪ねて」 『みずくらいど(福生市史研究)』

「市内の石仏を訪ねて」 『みずくらいど(福生市史研究)』

島田宇一

島田宇一

島田宇一

五号 福生市 一九八七年

清水 浩 「村方の諸経費と村民の生活」 『市史 上』

鈴木芳行 「織物業地域の確立と展開」 『市史 上』

「江戸時代後期玉川中流域の織物生産と流通」 『多満自慢石川酒造文書』 第三卷 霞出版社 一九八八年

「村切と越石地」 『市史 上』

関 雅子 「福生村・川崎村越石出入一件について」 『みずくらいど』

（福生市史研究） 九号 福生市 一九八九年

「河原新田の開発と村境」 『上水開削と新堀工事』 「新堀工事」 『市史 上』

高崎勇作

「熊川下、河原境争い一件とその背景」 『みずくらいど』

（福生市史研究） 七号 福生市 一九八八年

「半沢寛岡坊と熊川真福寺」 『多摩のあゆみ』 第四二号

財団法人たましん地域文化財団 一九八六年

「酒造業の展開」 『市史 上』

多仁照廣

「江戸時代の熊川村と石川酒造文書の性格」 『多満自慢石川酒造文書』 第一卷 霞出版社 一九八五年

「亀三郎日記にみえる化政期の社会と民衆」 『多満自慢石川酒造文書』 第二卷 霞出版社 一九八六年

「森田酒造について」 『多満自慢石川酒造文書』 第三卷 霞出版社 一九八八年

「農民文芸の興隆」 『市史 上』

「石川酒造家の俳諧史料について」 『多満自慢石川酒造文書』 第二卷 霞出版社 一九八六年

多田仁一

「石川和吉と石川家の経営展開」 『多満自慢石川酒造文書』 第四卷 霞出版社 一九八八年

「化政・天保期の在村俳人像」 『多摩のあゆみ』 第七一号

財団法人たましん地域文化財団 一九九三年

「福泉舎友甫の俳諧活動」 『句集福泉舎友甫』 田村半十郎 一九九四年

「小字・小名」 『市史 上』

「旗本田沢氏と知行所支配」 『旗本長塩氏と知行所支配』 『市史 上』

立川愛雄

田淵正和

「文政四年熊川村「御貸付金一件控」 『みずくらいど』

（福生市史研究） 一三三号 福生市 一九九一年

「徳川氏の入部と近世村落の成立」 『市史 上』

「日本の上水」 新人物往来社 一九九五年

「福生の特徴ある近世墓」 『みずくらいど』

（福生市史研究） 一七号 福生市 一九九四年

「福生市の近世墓」 『福生市文化財総合調査報告書』 第二七集 福生市教育委員会 一九九四年

「福生市における近世墓の特徴とその変遷」 『福生市郷土資料室年報』 一四 福生市教育委員会 一九九五年

「幕府領支配と年貢の変遷」 『市史 上』

三田村鳶魚 「玉川上水の建設者 安松金石衛門」 電通出版部 一九四二年

松尾公就

峰岸秀雄

「福生市における千人同心」 『市史 上』

「熊川村の宗門人別帳について」 『みずくらいど』

（福生市史研究）

史研究』四号 福生市 一九八七年

宮田 満 「多摩川の漁業」 『御菜鮎上納御用と御川狩御成麴匠御用』 『市史』上。

安田吉人 「森田文庫をめぐる人々」 『みずくらいと(福生市史研究)』 一一号 福生市 一九九〇年

『森田友昇の生涯』 『福生市文化財総合調査報告書』第二

五集 福生市教育委員会 一九九二年

『松原庵友昇の生涯』 『多摩のあゆみ』第七一号 財団法人たましん地域文化財団 一九九三年

米崎清美 「村方の変質と幕府の対応」 『市史』上。

『えがかれた江戸時代の村』 福生市教育委員会 一九九〇年

『福生市文化財総合調査報告書第二二集 福生市石造遺物調査報告書』 福生市教育委員会 一九八九年

『福生市文化財総合調査報告書第二七集 福生市石造遺物調査報告書』 福生市教育委員会 一九九四年

▼民俗

浅井 薫 「食生活」 『市史』上。

安斉忠雄 「多摩川中流域の漁撈具」 立川市教育委員会 一九八五年

関東民具研究会編著『多摩民具事典』財団法人たましん地域文化財団 一九九七年

河上一雄 「人々のつきあいとくらし」 『葬式とつきあい』 『屋敷神』 『市史』上。

木下直子 「結婚とつきあい」 『市史』上。

佐藤照雄編『社会科のための民俗学』 東京法令出版 一九八一年

田野倉紀子「桶屋の道具」 『福生市郷土資料室年報』 一一 福生市教育委員会 一九九〇年

『桶と樽』 『多摩民具事典』 財団法人たましん地域文化財団 一九九七年

日本民具学会編『日本民具辞典』(株ぎょうせい 一九九七年

橋本孝蔵 「祭りと芸能」 『市史』上。

保坂和子 「暮らしと衣類」 『住まいと暮らし』 『季節のリズム』 『市史』上。

森田節子 「産育とつきあい」 『市史』上。

山崎ヨシ江「畑作と暮らし」 『市史』上。

横地美枝子・佐野和子「講の集まり」 『市史』上。

『福生市史資料編』 民俗 上・下 福生市 一九八九年・一九九一年

『福生市文化財総合調査報告書第二二集 福生市の民俗 生業・諸職』 福生市教育委員会 一九八〇年

『福生市文化財総合調査報告書第一六集 福生市の民俗 ムラのくらし』 福生市教育委員会 一九八四年

『福生市文化財総合調査報告書第一七集 福生市の民俗 民俗芸能』 福生市教育委員会 一九八五年

『福生市文化財総合調査報告書第二三集 福生市の民俗Ⅰ 民具Ⅰ ミキノクチ』 福生市教育委員会 一九九一年

『福生市文化財総合調査報告書第二六集 福生市の民俗Ⅱ 民具Ⅱ 膳 椀倉の用具』 福生市教育委員会 一九九三年

▼近・現代

新井勝紘 「村の近代のはじまり」 『関東大震災の民衆の意識と行動』

「政治青年」の誕生」 「立ち上がる小作人たち」 『市史 下』

「20世紀多摩の文化運動」 『20世紀多摩の文化運動』 福生市教育委員会 一九九五年

梅田定宏 「行政管轄区域の変遷」 『市史 下』

「都制案と三多摩」 『多摩のあゆみ』 第五四号 財団法人 たましん地域文化財団 一九八九年

小作寿郎 「地域産業としての養蚕・製糸業」 『市史 下』

加藤有孝 「福生市に於ける学習運動の歴史に関する若干のメモ」

「福生市公民館紀要」 昭和五十六年度 福生市公民館 一九八一年

川鍋幸三郎 「東京の発展と福生」 「福生の農業」 「福生の商工業」 『市

民生活』 『市史 下』

島田宇一 「文化財」 『市史 下』

菅井憲一 「行政の変化と戦争に揺れる村況」 『市史 下』

高崎伊平 「学校教育」 『市史 下』

高崎勇作 「地域の生活と多摩川・玉川上水」 『市史 下』

立川愛雄 「福生飛行場ものがたり」 『みずくらいと(福生市史研究)』

六号 福生市 一九八八年

「福生第一国民学校の『防空日誌』について」 『みずくらいと(福生市史研究)』 四号 福生市 一九八七年

田村光男 「社会教育」 『市史 下』

橋本孝蔵 「戦後の基地の町の行政」 「都市化への促進」 『市史 下』

「福生不動尊由来記」 宗教法人福生不動尊 一九八九年

橋本孝蔵・加藤有孝・柚木誠一 「福生市の誕生と健康で文化的な街づくり実現へ」 『市史 下』

日高六郎 「戦後文化運動のすすめ」 『岩波講座日本歴史月報』 三三

岩波書店 一九八一年

保坂和子 「時代に魅た多摩の女性」 『多摩のあゆみ』 第七五号 財

団法人たましん地域文化財団 一九九四年

松本三喜夫 「戦争と村の人々」 「福生村青年団の展開」 『市史 下』

峰岸秀雄 「福生と熊川に敷設された鉄路」 『市史 下』

渡辺洋二 「奮迅！ 審査部戦闘隊 その一」 『二五』 『航空ファン』

文林堂 一九九六～九八年

わちさんべい 「空のよもやま物語」 光人社 一九八二年

「横田基地の概要」 福生市 一九七九年

「福生市と横田基地」 福生市 一九九一年

「福生市と横田基地」 福生市 一九九六年

「20世紀多摩の文化運動」 福生市教育委員会 一九九五年

「福生市文化財総合調査報告書第二八集 森田家三代のきもの」 福生市教育委員会 一九九五年

「写真でたどる福生の百年」 福生市教育委員会 一九九七年